

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和5年4月11日(2023.4.11)

【公開番号】特開2023-24446(P2023-24446A)

【公開日】令和5年2月16日(2023.2.16)

【年通号数】公開公報(特許)2023-031

【出願番号】特願2022-185795(P2022-185795)

【国際特許分類】

G 02 B 5/30(2006.01)

10

G 02 F 1/1335(2006.01)

B 32 B 27/30(2006.01)

【F I】

G 02 B 5/30

G 02 F 1/1335 5 1 0

B 32 B 27/30 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】令和5年4月3日(2023.4.3)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリビニルアルコール系樹脂中に二色性色素を含有する偏光フィルムの一方の面に、重合性化合物を含む硬化性組成物の硬化物から構成される第1硬化物層と、粘着層と、導電層とがこの順に積層された光学積層体であって、

前記粘着層は、イオン性化合物を含み、

30

前記第1硬化物層は、下記式(1)

吸光度上昇率(%) = (浸漬後Abs(360nm) - 浸漬前Abs(360nm)) / 浸漬前Abs(360nm) × 100 (1)

[式中、浸漬後Abs(360nm)は、温度23℃、相対湿度60%の大気中で、50%ヨウ化カリウム水溶液に硬化物を100時間浸漬させた後の360nmにおける吸光度を示し、浸漬前Abs(360nm)は、50%ヨウ化カリウム水溶液に硬化物を浸漬させる前の360nmにおける吸光度を示す]

で表される吸光度上昇率が20%以下である、光学積層体。

【請求項2】

ポリビニルアルコール系樹脂中に二色性色素を含有する偏光フィルムの一方の面に、重合性化合物を含む硬化性組成物の硬化物から構成される第1硬化物層と、粘着層と、導電層とがこの順に積層された光学積層体であって、

前記粘着層は、イオン性化合物を含み、

40

前記重合性化合物は、2つ以上のオキセタニル基を有するオキセタン化合物を含み、該オキセタン化合物の含有量は、硬化性組成物に含まれる全重合性化合物の総量100質量部に対して40質量部以上90質量部以下である、光学積層体。

【請求項3】

前記第1硬化物層の厚みは、0.1~15μmである、請求項1又は2に記載の光学積層体。

【請求項4】

50

前記第1硬化物層を構成する硬化物は、前記重合性化合物を含む硬化性組成物の光硬化物である、請求項1～3のいずれかに記載の光学積層体。

【請求項5】

前記偏光フィルムの第1硬化物層とは反対側の面に、第2硬化物層と保護フィルムとが積層された、請求項1～4のいずれかに記載の光学積層体。

【請求項6】

前記保護フィルムの透湿度は、温度23℃、相対湿度55%において、1200g/(m²・24時間)以下である、請求項5に記載の光学積層体。

10

20

30

40

50